

施策の方向性 1. 中四国地方の中核都市にふさわしい空間づくり

現状認識

- ▶ 都心には、官公庁施設、企業の本社・支社、商業施設等、中核都市にふさわしい都市機能を有する施設が集積しているものの、老朽化が進み、更新時期を迎える建築物が多い。
- ▶ 狭隘な敷地が多く、土地が有効活用できていない。
- ▶ 最近では、幹線道路沿いでありながら、低層階も含め全体が住居となっているマンションが建築されるなど、にぎわいが失われることが懸念される。

ねらい

引き続き、都心が活力とにぎわいを生み出す空間となるため、広島駅周辺地区及び紙屋町・八丁堀地区を中心に、土地の高度利用を促進するとともに、中四国地方の中核都市にふさわしいにぎわいあふれる空間の創出を図る。

① 都心空間のリニューアルによる高次都市機能の充実・強化

老朽化した建築物の更新や敷地の共同化の促進等により、高次都市機能の充実・強化を図るとともに、中核都市にふさわしい良好な都心空間の形成を図る。

- ☞先導的な取組 1 再開発を促進するための支援
- ☞先導的な取組 2 官公庁街の土地利用の在り方検討と民間活力の活用

② 都心空間の有効活用による新たなにぎわいの創出

建築物の低層階へのにぎわい施設の誘導、公園や道路等の有効活用により、新たなにぎわいの創出を図る。

- ☞先導的な取組 3 都心の地区計画の見直し
- ☞先導的な取組 4 公共空間を活用したにぎわいづくり

③ 多様な活躍の場を創出するビジネス環境の形成

サービス産業をはじめとする成長分野でのビジネスの創業支援や、産学金官の強固なパートナーシップのもと、新しい事業展開が次々と生まれる環境やイノベーションの原動力となる多様な人材の活躍環境の創出を推進する「イノベーション推進の場づくり」等により、多様な活躍の場を創出するビジネス環境の形成を図る。

先導的な取組

先導的な取組 1 再開発を促進するための支援

●再開発に向けたまちづくりの支援

敷地の共同化や市街地再開発等によるまちづくりを行おうとする団体からの相談に対し、アドバイザー等の専門家を派遣する制度を周知し、活用促進を図る。

また、紙屋町・八丁堀地区における建築物の更新を支援するため、土地利用制限の規制緩和や金融支援などが受けられる「都市再生緊急整備地域」制度の活用などの検討を行う。

●建築物の建替え等に対する支援

都心における建築物の建替え等を促進するための支援を検討する。

霞ヶ関（東京都）



都心空間のリニューアル

先導的な取組 2 官公庁街の土地利用の在り方検討と民間活力の活用

広島市と国・県が連携し、官公庁街の土地利用の在り方を検討する。

官公庁街の一部は、都市計画施設「一団地の官公庁施設」の制限（国家機関又は地方公共団体以外の建築物の建築制限）があることから、官公庁施設の更新にあたり、民間活力の活用が可能となるよう、必要に応じて、都市計画の見直しを行う。



一団地の官公庁施設「基町団地」

先導的な取組 3 都心の地区計画の見直し

地区の特性に応じた用途や街並みへと誘導することにより、魅力とにぎわいのある都心空間の形成を図るため、都心の地区計画の在り方について分析・検討を行い、必要に応じて見直しを行う。



統一感のある洗練された街並み



にぎわい空間の誘導

先導的な取組 4 公共空間を活用したにぎわいづくり

●中央公園の在り方検討と旧広島市民球場跡地の活用

中央公園の在り方について検討するとともに、旧広島市民球場跡地については、サッカースタジアムの整備に係る検討状況を見極めつつ、活用に向けた取組を行う。

●平和大通りのにぎわいづくり

ひろしまドリミネーションにあわせたオープンカフェの設置など、平和大通りを活用したにぎわいづくりを進める。

●紙屋町地下街「シャレオ」のにぎわいづくり

イベント等の実施や魅力的なイルミネーションの装飾等を行い、多くの人が回遊するにぎわいのある空間を創出する。

●袋町公園でのオープンカフェの社会実験

公園内での常設のオープンカフェ実施に向け、官民が連携した社会実験の検討を行う。



平和大通りのにぎわいづくり

上野公園（東京都）



公園内のカフェ

施策の方向性2. 国内外から人を惹きつける広島ならではの魅力づくり

現状認識

- ▶ 広島市には、入込観光客数が5年連続で過去最高を更新するなど（平成27年）、多くの観光客が訪れている。
- ▶ 特に、平和記念公園は、公園内の平和記念資料館に年間約150万人の人が訪れ、世界に平和を発信していくことがふさわしい空間となっている。
- ▶ 一方で、広島市内には多くの観光資源があるにもかかわらず、平和記念資料館を訪れた人は他の施設をあまり訪れていない。

ねらい

これまで以上に、都心が、国内外の人を惹きつけ、広島の魅力と平和への思いを広げていく拠点となるため、広島らしい個性的で魅力ある空間の創出を図る。

① 多様な人々が交流し、平和への思いが共有できる空間づくり

より多くの人々が被爆の実相に触れるとともに、復興した都市の力強さを実感し、平和への思いを共有することができるよう、世界中の人々を迎える魅力的な環境づくりを推進する。

- ☞先導的な取組5 比治山公園「平和の丘」構想の推進
- ☞先導的な取組6 平和記念公園における環境整備

② 観光都市広島に向けた、地域資源と都心空間の魅力向上

原爆ドームや広島城をはじめとした歴史・文化施設、水と緑豊かな空間等、多様な地域資源を生かし、ハード・ソフトの両面から都心の魅力を向上させる。

- ☞先導的な取組7 外国人旅行者へのホスピタリティの向上
- ☞先導的な取組8 美しい川づくり

③ 花と緑と音楽のあふれる美しいまちづくり

まちなかで花や緑を育むことを通じて、市民一人一人が自ら来訪者をもてなそうとする気運を醸成するとともに、誰でも日常的に音楽を楽しめる場を作り、人々が潤いと安らぎと癒しを実感できる美しいまちづくりを進める。

④ 市民、企業、行政などの連携・協働によるまちづくり

市民や企業等、多様な主体によるまちづくり活動への支援を行うなど、市民、企業、行政などの連携・協働によるまちづくりを進める。

- ☞先導的な取組9 エリアマネジメント活動の支援

先導的な取組

先導的な取組5 比治山公園「平和の丘」構想の推進

比治山公園を、その自然的、文化的魅力を体感でき、一望する街並みから平和を実感できる魅力的な新たな拠点とするため、「比治山公園『平和の丘』構想」に基づき、再整備に取り組む。

先導的な取組6 平和記念公園における環境整備

●原爆ドーム周辺の景観形成

原爆ドームを貫く南北の軸線を生かした象徴的な景観を、将来的にも確保するため、広島市景観計画や条例に高さ制限を規定するなど、景観誘導の充実を図るための方策を検討する。

●平和記念公園レストハウスの改修

レストハウスを観光資源として効果的に活用するため、爆心地となった中島町の歴史資料を展示するとともに、耐震補強や地下部の保存を行う。

●平和記念公園の環境改善

平和記念公園内のトイレについて、老朽化への対応やユニバーサルデザイン化を進め、環境改善を図る。



平和への思いを共有する場

先導的な取組7 外国人旅行者へのホスピタリティの向上

●訪日外国人旅行者受入環境向上事業（HiroshimaFreeWi-Fiプロジェクト）

無料公衆無線LAN環境を用いて観光情報の提供等を行い、外国人観光客の市内周遊を促す。

●モバイル情報サービス「広島P2ウォーカー」

平和記念公園等を訪れる国内外の方が、スマートフォンやタブレット端末等を通じて、その場で平和や観光に関する情報等を入手できるサービスとして、様々なコンテンツを提供する。

●観光サイン及び案内・誘導サインのリニューアル

平和記念公園を中心に、楕円形の都心における観光サイン及び公共空間の案内・誘導サインの多言語化等、案内表示の充実を図る。



多言語案内の充実

先導的な取組8 美しい川づくり

広島駅周辺地区の水辺を「水の都」の玄関口にふさわしい広島の象徴的な空間にするため、水上交通との連携、河岸緑地の整備・利活用などに県と連携して取り組む。



美しい川づくり

先導的な取組9 エリアマネジメント活動の支援

広島駅周辺地区のエリアマネジメント体制の構築を支援するとともに、紙屋町・八丁堀地区をはじめ、他の地区においても、エリアマネジメント活動の支援に取り組む。



地域主体のまちづくり

施策の方向性3. 世界中から訪れる人にやさしい交通環境づくり

現状認識

- ▶ 都心へのアクセスは公共交通機関の利用が多く、徒歩や二輪の利用も増えている。
- ▶ 都心の回遊性を向上し、にぎわいを創出するためには、安全で快適な歩行環境を整備するとともに、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区へのアクセス性を向上させる必要がある。
- ▶ 近年、駐車場の余剰傾向が見られるなど、需要と附置義務基準の乖離が生じている可能性がある。

ねらい

世界中から訪れる人が、安全で快適に回遊できる都心となるため、歩きやすく移動しやすい交通環境の整備を図る。

① 歩行者や自転車を優先する交通環境の整備

安全で快適な歩行環境や自転車利用環境の整備等により、歩きやすく移動しやすい環境づくりを推進する。

- ☞先導的な取組10 楕円形の都心づくりを支える歩行環境の整備
- ☞先導的な取組11 駐輪場・駐車場附置義務の見直し

② 都心へアクセスしやすく、容易に移動できる交通環境の整備

都心周辺や郊外、さらには市域外から都心への公共交通ネットワークの充実・強化、広島駅や広島バスセンターなどの交通結節点の機能強化などにより、都心にアクセスしやすく、容易に移動できる環境づくりを推進する。

- ☞先導的な取組12 広島駅南口広場の再整備等

③ ユニバーサルデザインの推進

歩行者空間の段差解消等のバリアフリー化、来訪者にもわかりやすい案内・誘導サインの設置等により、ユニバーサルデザインを推進する。

先導的な取組

先導的な取組10 楕円形の都心づくりを支える歩行環境の整備

●広島駅周辺地区の歩行者ネットワーク整備

「広島駅周辺地区の歩行者ネットワーク計画」を取りまとめ、官民連携による歩行者専用ネットワークや新たな人の流れを周辺に広げる歩行者ネットワークを形成し、それらを分かりやすく案内することにより、地区の回遊性や一体性の強化を図るとともに、当地区のにぎわいを周辺に広げる。

●紙屋町・八丁堀地区の歩行環境整備

「紙屋町・八丁堀地区の歩行環境整備計画」を取りまとめ、「車中心の道づくり」から「人中心の道づくり」への転換、「通る道づくり」から「使う道づくり」への転換、「道づくり」から「まちづくり」への転換を図ることにより、都心で暮らす人や来訪者が安心して楽しく回遊できる歩行環境の整備を進めるとともに、まちのにぎわいや魅力の向上を図る。

●西国街道を軸としたにぎわいづくり

「西国街道を軸としたにぎわいづくり計画」を取りまとめ、かつて城下町の目抜き通りであった西国街道を、市民との協働で、「広島駅周辺地区」と「紙屋町・八丁堀地区」をつなぐ「新たなにぎわいの軸」として復活させることにより、両地区のにぎわいを都心全体に広げる。

●袋町裏通りの整備

袋町裏通りにおいて、歩きやすく、にぎわいが生まれる道を目指して、地域参画型の道づくりに取り組む。

先導的な取組11 駐輪場・駐車場附置義務の見直し

●駐輪場附置義務の見直しの検討

自転車・バイクによる通勤利用者や時間帯別の放置台数等の実態調査の結果に基づき、駐輪場附置義務基準の見直しの検討を行う。

●駐車場附置義務の見直しの検討

駐輪場附置義務の見直しの検討に合わせ、広島市の駐車場整備状況や、国の標準駐車場条例の改正（平成26年8月）による附置義務台数の低減を踏まえ、駐車場附置義務基準の見直しの検討を行う。

●隔地駐車場を認める基準の弾力的な運用の検討

駐車場の附置は、「敷地内に設置すること」を原則としているが、都心活性化の観点から、隔地駐車場を認めるなど弾力的な運用の検討を行う。

先導的な取組12 広島駅南口広場の再整備等

利用者の利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成を図るとともに、広島駅周辺地区で進展する市街地再開発事業等と一体的なまちづくりを推進するため、南口広場へ路面電車を高架で進入させる広場の再整備を行う。併せて、市内中心部を環状で結ぶ循環ルートを整備する。



広島駅から稲荷町方面



猿猴橋町から広島駅方面

広島駅南口広場の再整備等のイメージ

施策の方向性4. 安全・安心で平和な生活を支える環境づくり

現状認識

- ▶ 安全・安心の確保や、良好な都市環境を形成することは、持続的なまちづくりの基礎となるものである。
- ▶ 一方で、都心には、建築基準法の耐震基準を改正した昭和56年以前に建築された建築物が多く存在しており、建築物の耐震化を促進する必要がある。
- ▶ 合流式下水道で整備している中心市街地では、都市化の進展に伴う雨水浸透域の減少や局所的な集中豪雨により、浸水被害が発生している。
- ▶ また、広島市における温室効果ガス排出量は増加傾向にあり、多くの人が集う都心においても、環境負荷の少ないまちづくりを進めていく必要がある。

ねらい

誰もが快適で穏やかに暮らし続けることができる都心となるため、災害に強く環境などにも配慮したまちづくりを進める。

① 災害に強いまちづくり

建築物の耐震性の向上、浸水対策の推進、地域の防災まちづくり活動の促進等により、災害に強いまちづくりを推進する。

- ☞ 先導的な取組13 建築物の耐震性の向上
- ☞ 先導的な取組14 浸水対策の推進
- ☞ 先導的な取組15 防災まちづくりの推進

② 環境に配慮した低炭素なまちづくり

省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入促進等により、環境負荷の少ないまちづくりを進める。

- ☞ 先導的な取組16 スマートコミュニティの推進

③ 都心居住を支える環境づくり

都市型住宅の供給を促進するとともに、地域コミュニティの活性化等により、都心居住を支える環境づくりを進める。

先導的な取組

先導的な取組13 建築物の耐震性の向上

地震発生時における建築物の倒壊等の被害から市民の生命・身体及び財産を保護するため、「広島市建築物耐震改修促進計画（第2期）」に基づき、不特定多数の者が利用する大規模建築物等を対象に耐震診断経費や耐震改修工事経費に対する補助などを行い、民間建築物の耐震化を促進する。

また、公共施設においては、地震災害の発生時に災害対策を円滑に実施するため、災害対応の拠点となる施設や災害時に市民の避難場所となる施設などの耐震化を推進する。

先導的な取組14 浸水対策の推進

10年に1回程度降る強い雨（1時間降雨量53mm）に対応できるよう、雨水幹線などの整備を進めるとともに、最新のICT（情報伝達技術）を利用して、降雨や浸水状況に即応したポンプ施設の効率的な運用を支援するシステムの実用化に向けた取組を実施するなど、平成30年代に床上・床下浸水を解消することを目標に浸水対策を進める。

先導的な取組15 防災まちづくりの推進

平成26年8月20日の豪雨災害以降に広島市にいただいた寄付金をもとに設置した「防災まちづくり基金」を活用し、「わがまち防災マップの作成支援」や「防災リーダーの養成」等、地域の防災まちづくり活動の促進等を図る。



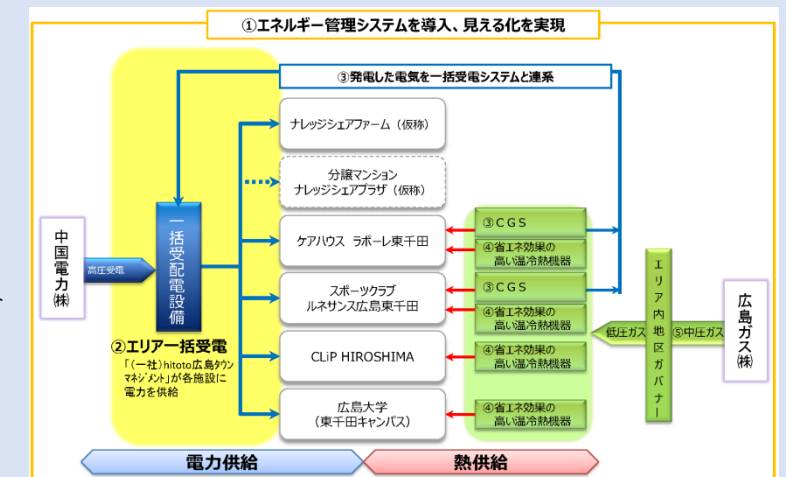
先導的な取組16 スマートコミュニティの推進

●革新的な省エネ技術等の導入に対する支援

広島大学本部跡地の再開発における電力の一括受電やエネルギー管理システムの導入等のように、建築物の新築・改築や大規模改修に併せてスマートコミュニティの構築に向けた取組が進むよう、様々な国の補助制度の活用促進を図る。また、平成28年度に「低炭素集合住宅建築補助制度」及び「集合住宅共用部のLED照明交換補助制度」を創設しており、今後も、スマートコミュニティの導入促進につながる支援策の拡充に努める。

●市民・事業者への周知啓発等

スマートコミュニティの意義・必要性に対する市民・事業者の理解を深めるため、シンポジウムの開催などスマートコミュニティに係る周知啓発等により、意識改革を積極的に行っていく。あわせて、事業者のスマートコミュニティ構築への意欲を喚起するため、情報提供や相談等の支援体制を整備する。



広島大学本部跡地「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」におけるシステムイメージ